

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和6年度 第7回 監査委員定例協議会

開催日時 令和6年11月5日(火) 午前9時5分～午前11時10分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、寺澤 潤、稲葉 寛之

事務局長 萩原 健

書記 柴 秀和

山田 和誠、山田 裕 渡辺 篤史、蝦名 倫代

宇佐美亜希、神山 悟、谷 梓

青野 洋平、山本 和延、齋藤 升美

会議内容

1 開会宣言 柴次長

2 例月現金出納検査等(9月分)

冒頭、山田次長補佐から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告があった。

また、各種会計の説明後、各公営企業会計の検査に先立ち、青野係長から第6回監査委員定例協議会で監査委員から質問があった検査調書4ページの預金支出内訳書に記載されている人数の計上について説明があった。

(1) 説明者等

ア 各種会計 宇佐美係長(監査第2係)

イ 病院事業会計 清水病院事務局長、病院経営企画課長、病院経営企画課病院管理担当課長、医事課長

ウ 簡易水道事業会計 保健衛生医療部長、保健衛生医療課長、保健衛生医療課簡易水道担当課長、上下水道経理課長

エ 水道事業会計 上下水道経理課長

オ 下水道事業会計 上下水道経理課長

カ 農業集落排水事業会計 農林水産部長、農地整備課長、上下水道経理課長

(2) 発言等

ア 各種会計

(稲葉委員)

特別会計の収入と支出の執行率について、9月末現在で執行率が低い会計があるが、問題ないのか。

(事務局)

会計ごとに収入、支出のタイミングが異なるため、年度末までには予算額に近づくとと思われる。

(遠藤代表)

競輪事業会計の執行率が低い理由は、今年度は年末にグランプリが開催され、分母である予算額が大きくなっていることもあり、計画どおりか。

(事務局)

計画どおりである。

(白鳥委員)

収支状況表と資金措置表に記載してある特別会計の番号が異なるのはなぜか。

(事務局)

資金措置表には財務会計システムで登録されている番号が記載されており、収支状況表には財務会計システムの登録番号順に並べた番号を記載しているためである。

イ 病院事業会計

(白鳥委員)

医業未収金の貸方が約9億1,000万円となっている。これが保険請求収入だとすると、およそ2か月前のものが入ってくると考えており、2か月前の7月分を見ると医業未収金の借方に約7億5,000万円の計上されている。これに対し、今月、約9億1,000万円の回収があったということになると思うが、約1億5,000万円の差があるが、特別に回収が早まったものがあるとか、他のものが回収されたりしているのか。

(清水病院事務局)

主に他会計負担金の約1億5,000万円である。

(寺澤委員)

上半期の経営状況の各指標について、前年度9月の状況を下回っているが、下半期を見通すと前年度並みになるのか、見解を教えてください。

(清水病院事務局)

4月から看護師不足により一部の病床を制限している状況であり、看護師に関しては年間を通じて募集を行っているものの、看護師を増やすことができていない状況であるため、今の病床数のままとする。

冬は患者数が増加傾向になるが、今の病床数で果たして効率よくやれるのかというところ、病床稼働率が約90%程度になっている。

(寺澤委員)

それはここ数年では良い数字ということか。

(清水病院事務局)

そのとおりである。病床稼働率は通常80%程度であるが、なるべく回転数を高めて、うまく回していければと思っている。

(寺澤委員)

病床稼働率を高めて回転数を上げれば入院単価が上がり、収益も増加していくということか。

(清水病院事務局)

そのとおりである。一方で、今年は病床を増やすことが難しいため、前年度並みの数字

に追いつけるかというところは、実際に終わってみないと分からない状況である。

(稲葉委員)

病床稼働率を高めても上半期の入院収益が前年度比1割減となっており、下半期も同様だった場合、頑張りと収益が繋がらない。職員にとっても負担が掛かっていると思うので、しっかり支えていただきたい。

2ページ収入予算執行説明書の当月分調定額及び収入済額に固定資産売却代金が計上されているが、これは何か。

(清水病院事務局)

清水病院の土地の一角に薬局があり、これまで貸付を行っていたが、薬局側から買い受けたという話があったため、手続について関係部局と協議の上、売却を行ったものである。

また、看護師の負担については、病床稼働率が90%以上になると、負担が増えてくるため、その負担をどれだけ減らせるかということに取り組むこととしている。現在、医療政策アドバイザー1人と政策アドバイザー1人とといった外からの知見を取り入れながら業務改善と看護師の負担軽減に取り組んでいる。

(寺澤委員)

改善の効果は出ているのか。

(清水病院事務局)

まだスタートしたばかりなので効果はこれからである。

(白鳥委員)

アドバイザーは医療現場の職員に対するアドバイスをされているということか。

(清水病院事務局)

そのとおりである。主に医師、看護師に対するアドバイスである。

(遠藤代表)

経営状況の報告について、今年度の入院収益の年間予定との比較で執行率が39.5%、差額が約48億円となっているが、予定を立てた令和6年度当初予算編成時には既に看護師が少なく、病棟も閉めている状態であったと認識している。予定より執行率が落ちているということは、予定では看護師が確保できて、閉鎖していた病棟を開けることができると考えていたものの、そのようにはいかなかったということか。

(清水病院事務局)

そのとおりである。

(遠藤代表)

令和5年度の一般会計補助金を除いた赤字額は約12億円だったと思うが、現時点で年間の赤字額はどの程度を見込んでいるのか。

(清水病院事務局)

上半期の数字をそのまま倍にした場合、赤字額の見込みは20億円である。

ウ 簡易水道事業会計

8月の例月現金出納検査で検査した内容と今回提出された検査調書の内容に連続性が認められなかったため、改めて検査調書を事務局に提出し、その後、事務局職員が検査調書を持ち回り、各監査委員に対して説明する方法で、再度、9月分の例月現金出納検査を実

施することとなった。

エ 水道事業会計

(白鳥委員)

営業外未収金が借方に1,000万円余計上されているが、これは受取利息及び配当金と雑収益の合計なのか。

(上下水道経理課)

そのとおりである。

(白鳥委員)

雑収益の120万円余の内訳は何か。

(上下水道経理課)

主なものは、行政財産目的外使用料収入88万円余であり、これは工事の現場事務所や資材置き場として使用許可したことによるものである。

(寺澤委員)

上半期の執行状況について、建設改良費、工事請負費の執行額が前年度より低いが、今後の見通しはどうか。

(上下水道経理課)

今年度、現在の経営戦略や中期経営計画の見直しを行っており、それを11月補正予算や来年度以降の事業に反映させるため、一部工事発注を控えている。11月補正予算成立後、なるべく早期に発注を行い、執行額を高めていきたい。

(遠藤代表)

上半期の執行状況の説明があったが、年間の収支見込みはどうか。

(上下水道経理課)

上半期の収支の状況としては、給水収益も前年度並みに入ってきており、大幅な経営状況の悪化といった想定はしていない。

オ 下水道事業会計

(白鳥委員)

災害支援費は最終的に補填されるとのことであったが、調書の雑収益に計上されているのか。雑収益が約5,600万円となっており、昨年に比べて大きいので主な内容を教えてほしい。

(上下水道経理課)

災害支援費について、まだ収入していない。金額が確定したら、一般会計から入ってくる。また、今月の雑収入の主なものとしては、令和3年度及び4年度分の消費税の還付金約5,200万円である。

(稲葉委員)

上半期の執行状況について、支出の修繕費が前年度より大きいがどういう状況なのか。

(上下水道経理課)

浄化センター費及びポンプ場費における機械の修繕において、昨年度、部品の納入が遅れた関係で年度内に完了できず繰越となった分が、本年度に完了し支払ったことにより、修繕費が増加している。

(稲葉委員)

対予算比が14.1%となっているが、状況はどうか。

(上下水道経理課)

前年度同月の対予算比も6.1%で例年並みであり、工事と同様に年度末に完成して一気に伸びてくる。

(遠藤代表)

年間の収支状況について、前年度並みの黒字は確保できそうか。

(上下水道経理課)

今のところ黒字を見込んでおり、前年度より大きく黒字額が減少することはないと考えている。

カ 農業集落排水事業会計

(稲葉委員)

上半期の執行状況について、収益的支出の人件費が令和5年度と比べ多くなっているが、これは公営企業会計への移行によるものか。

(農地整備課)

そのとおりである。地方公営企業法適用前の特別会計では、人件費として1人分計上していたが、地方公営企業法では、経営状況を明らかにするため、すべての費用を計上するとされていることから、6人分を計上しており、5人分の差額が生じている。

(稲葉委員)

上半期の執行状況の対前年度比を見ると、収入は同程度であるが、人件費の増額に伴い支出は1.5倍程度になっている。収支バランスに問題は生じないのか。

(農地整備課)

これまで一般会計が負担していた人件費分は、一般会計繰入金として収入するため、問題はない。

(寺澤委員)

上半期の建設改良費は、執行がないが、これは、下半期に実施する予定なのか、それとも今年度執行はないということなのか。

(農地整備課)

計画では、下半期に執行予定である。

(遠藤代表)

次期施設更新の際、処理区ごとにどのようにするのがよいのか検討するため、引き続き処理区ごとのデータを把握・整理しておいていただきたい。

3 協議会議事

(1) 報告事項

ア 報第10号 内部統制の不備に関する報告（令和6年9月分）について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和6年度第6回定例協議会議事録の公表について・・・・・・・・山田次長補佐が説明

イ 11月・12月の日程について・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長